（別添資料１）

事業所名　VIVO　HOUSE　アンツ・マリク

支援プログラム

作成日　R7　年　2　月　15　日

法人（事業所）理念	「安全、丁寧、一生懸命に」目の前の利用者様に向き合って期待に応えられるよう努めてまいります。						
支援方針	・お子様が安心して過ごせる環境を提供いたします。 ・遊びや様々な体験を通して日常生活で必要な動作、行動を獲得できるように丁寧に支援してまいります。						
営業時間	平日	10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
	土日・祝日	10 時	0 分から	16 時	0 分まで		
	支　援　内　容						
本人支援	健康・生活	・到着時に検温、手洗いを行います。またその日のお子様の様子を観察しながら体調の把握に努めます。 ・近隣のお散歩や公園へ行き、身体を動かすことで身心の健康の維持に努めます。 ・衣服や靴の着脱、排泄、荷物の管理など生活動作について、支援員が手伝いながらご自分で出来ることを増やしていけるよう支援します。					
	運動・感覚	・様々な遊具で遊ぶことでバランス感覚、筋力の維持、向上につながるよう支援します。 （公園遊びの際：ブランコ、滑り台、シーソー　庭遊び：三輪車、自転車、スケボーなど） ・縄跳びやボール遊びなどの遊びを通じ協応動作の向上に努めます。 ・制作やクッキングを通し、はさみなどで手先を使い、指先のトレーニングを行います。					
	認知・行動	・朝の会などにおいて日時、天気、名前を意識する機会を設けます。 ・物の形や感触の変化を楽しみながら認知機能の向上を支援します。（粘土、砂遊び、クッキング、制作など） ・公園等への外出を通じて季節の移り変わりを感じられるよう支援します。（桜、こいのぼり、紅葉などを見に行く） ・お絵描き、音楽、お店屋さんごっこなどの遊びを通じて色、音、数などの概念の形成の促進を支援します。					
	言語 コミュニケーション	・絵カードやジェスチャー等を用いながら利用者それぞれの特性に合わせながら支援を行います。 ・集団活動を通して、他者とコミュニケーションを取り自分の気持ちを伝えたり相手の気持ちを考える機会を提供します。 ・絵本や図鑑をスタッフと読みながら、色・形・物の名前などの単語やその意味を理解し獲得していけるよう支援します。					
	人間関係 社会性	・ルールのあるゲームを集団で行い、遊びの雰囲気を共有しながら他者との関係性を深めて行けるよう支援します。 ・お買い物体験や工場見学などを通して公共の場でのルールを学べるよう支援します。 ・3～18歳までの幅広い年齢層の利用者同士のかかわりの中で自己と他者についての理解を深められるよう支援します。					
家族支援	連絡ノートや送迎時の会話などで随時情報共有を行います。 必要に応じて相談の場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。					移行支援	学校、他事業所との情報交換（担当者会議等への参加）
地域支援・地域連携	近隣の公共施設の利用（公園、体育館、プラネタリウムなど） 近隣商業施設での買い物体験					職員の質の向上	毎月職員会議を実施 毎月内部研修を実施 随時外部研修に参加
主な行事等	運動会、BBQ、工場見学、水遊び（夏）、秋祭り、クリスマス会、外食体験、おやつ買い物体験など						